

入中1年人権だより

徳島市 八万中学校
1年生 第14号
2020年10月26日
編集・埴 吉成正士

入中1年第1回学年全体人権学習:10月5日

テーマ「生きることは」

みなさんの感想が届きました。どうぞご覧ください。

今までの人権についての学習や、今日の全体学習を通して、「命」についての意見をたくさん聞きました。

僕が一番心に残るのが、「クラスで暴言が聞こえてきたりして、嫌な気持ちになる」という意見です。この意見を聞いたとき、「僕も暴言を言っている一人だ」と思いました。周りの人を嫌な気持ちにさせているかもしれないと思ったときに、とても後悔しました。周りのことを気にせず、好き勝手にしてはいけなく強く思いました。なので、これからは周囲のことも考えて、発言・行動をするようにしたいと思いました。

また、周囲のことを考えずに、好き勝手にしている人を見かけたら、今日、全体学習で聞いて思ったことを思い出して、注意ができるようになれたらいいと思います。一人の人間として、少しでもいいクラスにできるように頑張っていきたいと思います。 KD

*

今日、人権集会をして僕が感じたことは、まず「クラスで暴言が聞こえてくる。」について、自分のクラスでも暴言は毎日聞こえてくる。ただ自分のクラスは、先生やクラスみんなが注意してくれているので、少なくなってきたと思う。それでもやはり暴言を言う人は言うので、一人一人が言葉の重みを感じ、意識を変えていかなければ、クラスで聞こえる暴言がゼロになることはないと思う。そして、この「暴言」という「凶器」がもとで、人権問題になったり、自ら命を絶ってしまうことになりかねないと思った。今回のテーマの「生きることは」は、幸せを感じ、必ず守っていかなければならないものだと自分は思う。 IM

あれから、暴言や好き勝手な言動は減ったでしょうか。まだまだ思い通りにいかない現実もあるかもしれませんが、それが現実の社会です。だからといって腐っていても、何も良くはなりません。そんな社会を、粘り強くここまで変えてきてくれた先人がたくさんいたことをみなさんは学んできたのではないのでしょうか。そう思えば、ここで私たちが挫折するわけにはいきません。私たちも、そんな先人の努力を引き継いで、これからの社会を良くしていくのです。私たちの身のまわりから良くしていくのです。

命についてみんなの意見を聞いて、感じ方は人それぞれだと思いました。やさしいと思って「大丈夫？」と聞いたのに、相手に違うようにとられたり。なかなか難しいなと思いました。「アホ」とか「死ね」とかの暴言も、人によって感じ方が違うから、こんな言葉が聞こえ

てくるんだなと思いました。

私は命について、もちろん大切なものだとは思っていても、あまり考えたことはありませんでした。この学習で「生きることを考えたけど、明確な自分の答えは出ませんでした。でも、今日の意見を聞いて、生きることは、自分を良くしていくことだと思いました。悪いところが悩みとかはやっぱり誰にでもあるし、人に迷惑をかける人はいないけど、生きていく中でそれを良くしていったらいいと思います。命の大切さも、生きていっただよく分かるようになると思います。 IH

*

私は以前、生きることは呼吸をすることだと思っていました。生きることは呼吸をすることというのも間違いではありません。

これまで人権学習でいじめ、部落差別、性差別、男女差別、障がい者差別、年齢差別、今も起きている誹謗中傷、感染者差別、紛争、戦争、デモなど、たくさんの差別や偏見について学習してきました。差別やいじめ、偏見をなくそうと訴えかけてきました。やめるため、なくすためにどうするか、自分の意見を考え、発表してきました。でも、ただそれだけです。実際、「死ね」と言っている人は言っています。苦しんでいる人は苦しんでいます。今、この状況をどうにかしたいと思っているなら、みんなで何度も話し合い、嫌な気持ちになる人を少しずつでも減らそうと思うことが、一番簡単なようで、一番難しい、一番遠回りのようで一番の近道なんだと思います。まず、どのようにすれば良いかを考え、次に行動に移すことがとても大切だと思いました。 YH

YH

感じ方は人それぞれ。だからこそ、なかなか思い通りにいかないこともある。それが人間であり、それが人生。だからこそ面倒でもあるし、面白くもあるのです。

思い通りにいかないこともあるかもしれませんが、それはあなただけじゃなくて他にもいるし、みんながそうかもしれない。そんなことがわかるのも、こうやって語り合えばこそです。だから語り合うことに意味はあるのです。決してあなただけじゃない。

中学校を卒業して5年経って、10年経って、大人になって、親の立場になって、ようやく思い通りにいくこともあります。だからこそ、生きる事が大切なのだと思います。何度でも何度でも、話し合うのです。

私は、このみんなの「生きることは」という文を聞いて、私は気づきました。私だけじゃなくて、他の人たちも悩みを持っているし、私とほぼ同じ悩みの人もいたから、人は誰でも悩みを持ったりするんだなと思いました。だけど、そこで自分たちは生きてるだけで、健康でいるだけで幸せという文がありました。私はそれを聞いて、幸せは自分で気づくものと思っていたけど、他の

人たちに気づかされることもある、幸せは自分で気づかないものもあることが分かりました。

次にいじめのことです。私はいじめにあったことがないから、その苦しみを知りません。だけど、私は少しだけちよっかいを出したときがありました。そんな少しのちよっかいでも、度が過ぎると、いじめになると分かりました。

KH

自分のことはよく見えないもの。他者を通して、自分が見えることもあるものです。ここに、人と関わることの意味があります。他者を通して自分が見えたときこそ、自分が変わるチャンス。それはいつやってくるかわかりません。それこそ、人それぞれです。だからこそ、チャンスを逃さないために、「継続は力なり」です。

私が思う生きることは、いろいろなことの積み重ねだと思います。命は強さと深い関わりがあります。私が生まれ、私という命が生まれたのも、他の人の命が生まれたのも、いろいろな人の強さの積み重ねだと思います。奇跡は強さがないと生みだせない。軽いものでも積み重ねれば重くなるのと、命はよく似ています。この世にある命の中で軽い命なんてありません。人以外の動物だって、虫だって。でも、その命を軽く扱ってしまうこともあります。それは、この世界の弱みの一つです。分かっているのに、できない。そんなことはよくあります。世界の中で軽い命なんてないと分かっているのに、虫を潰してしまったり。命は強さの積み重ね。そこに一人でもいなかったら、自分は生まれていないかもしれない。一つ一つが強さと奇跡。そういうことを、この人権学習を通して改めて感じました。

AK

こんな思いをすべての人が持つことができたなら、過去の悲惨な出来事は、未来にはなくしていけるのかもしれない。

かつて人は、人を虫けらのように扱ってきた歴史がありました。被差別部落の人を、在日の人を、戦争中には何の罪もない人々を、他の人種や民族を、障がいのある人を、ハンセン病やコロナウイルスに感染した人を、まるで自分とは同じ人間ではないかのように扱ってきました。今もそう。愚かなことです。そんな愚かさも、人間の持つ一面です。でも、本当に人間は愚かさだけを持った存在なのでしょうか。

私は思います。人間には賢さもあると。今すぐ変わることはできないかもしれませんが、でも、本当に意識が高まり、変わらなければ、変わっていきこう、変わっていききたいと思うことができれば、たとえ時間はかかっても、変わることができるのではないかと信じています。そのためにも、人権学習が必要なのです。教科の学習も大事でしょう。でも、同時に人権学習をしていくことも、また大事なのだと思います。みなさんが生きていく未来のために。

私は、今日の人権集会でたくさんの意見が出て、その一つ一つがほほ胸に響きました。その中で特に心に残っているのは、誰先生か遠くて分かりませんでした。が、「人間は生まれてきた瞬間、期待や不安でいっぱい

いで、育っているときも人生で、誰かに絶対に一度は迷惑をかけたり、心配をされている生き物なんです」と言っていたとき、何かの感情が胸に飛び込んできました。「まさにその通り」だと思いました。人間は、一度誰かに迷惑や心配、ウザいなど思われたことはあると思います。私も思いました。「心配されない人間やこの地球上に存在されないんじゃないか」と。

今まで戦争や人権などを通しての学年集会を開いて、本当に正解だと思います。その理由は、授業でも考えることは出来るとは思いますが、学年全員が集まった方が、命や人権についてより深く考えられると思うからです。自分だけの意見じゃなくて、他の人や先生方の意見も聞けて、より深く、真面目に考えられると私は思います。

私が戦争で一番怖いことは、空から爆弾を一つ落とすだけで、何万人もの全員の命を、3秒もたたずに奪ってしまうことです。今の私たちは本当に戦争を体験したことがないのであまり分からないと思いますが、本当に経験した方は、想像を超える思いをしたと思います。今、私たちの体の中にある命を毎日大切に、楽しく生きていこうと思いました。

MY

私の言葉をきちんと受けとめてくれたようです。

人はすぐに、思い上がったことを言ったり、したりしてしまいます。でも思い上がると、そこで人としての成長はストップしてしまうように思います。難しくても自分を謙虚に見つめ、感謝の気持ちを忘れず生きていくことが大切なのではないでしょうか。

それと、隣の人や周りの人が悲しい思いをしているのに、自分だけ楽しいということはないように思います。自分が楽しく生きていくためには、隣の人も、周りの人も楽しくいることが必要で、隣の人も周りの人も楽しく笑顔でいられることが、あなたの笑顔につながっていくのではないのでしょうか。あなたも大切。けど隣の人も大切。そんな想像力をもって、まずはあなたが笑顔になること。みんなが笑顔になるためにも。

今回のみなさんの語り合いも感想も、本当にステキだなあと感じます。まだまだ道のりは遠いですが、それでもこうやって語り合うことで互いを知り合い、つながり合うよろこびを感じながら、みんなで伸びていければと思います。



先日から各クラスで、視覚支援学校を通じて視覚障がいについての学習を始めました。地元にあるのに、近くて遠い支援学校。それを、近くて近い、「地元の支援学校」に意識を変えていきこうという取り組みです。

26日には視覚支援学校から先生が来てお話を聞かせてくださいます。翌週には、盲導犬ユーザーの方に来ていただき、お話を聞かせていただきます。

障がいの種類は多様です。視覚障がいについて学んでいく中で、この機会に様々な障がいについてみんなで考え合い、語り合い、学び合う時間をとりたいと思います。そのときも前回と同じで、みなさん自身のこと、自分自身のことを語り合い、互いのなかにある本当の思いを知り合うことができればと思います。今から楽しみです。